

熱戦のゲートボール大会

晴天に恵まれた6月5日、日光市老人クラブ連合会主催の「ゲートボール大会」が、大谷川河川敷コートで行われました。参加したのは、22町内24チームで選手150人。練習の成果を十分に発揮し、各コートで熱戦が展開されました。結果は、優勝石屋町、準優勝久次良町B、三位清滝4丁目、努力賞稲荷町となりました。



霧降高原でキスゲを補植

6月5日、霧降高原キスゲ平で「ニッコウキスゲ」の補植が行われました。この日補植されたキスゲは、3~4年生で500株。小平市長をはじめ関係者30人は、スコップを片手に一株ひと株ていねいに植えこみました。今年の見頃は7月上旬とのこと。一面に黄色いじゅうたんを敷き詰めたような光景をぜひご覧ください。



キスゲ2,500株を装飾

日光観光協会では、6月5日から23日まで二社一寺境内に、ニッコウキスゲを装飾し、訪れた観光客に喜ばれました。装飾された場所は、山内表参道、五重の塔前、二荒山神社、郷土センター前で、二、五〇〇株のニッコウキスゲが用意された。観光協会では、ゆくゆくは「日光キスゲ祭」として、定着させる方針です。



新緑に映える裏見の滝の荒沢不動尊で、5月28日、無病息災を祈る護摩供養が行われました。興雲律院の中川住職と里山伏の石島康見さんが経文を唱える中、約30人の参列者たちは、「家内安全」「交通安全」など願い事を書いた護摩木を住職に託し、合掌しました。この護摩供養は、毎年5月と10月の2回行われています。

裏見の滝で護摩供養

中禅寺湖畔の“水まつり”

6月15・16日の2日間、中禅寺湖畔で「水まつり」が行われました。

2日間とも天候に恵まれ、塩焼きの香りに誘われた観光客は、無料試食会のくし刺しのニジマスやマス汁などに舌鼓を打って大喜びでした。



小中学校陸上競技大会

第21回市内小中学校陸上競技大会が、6月3日、日光小グランドで開かれました。小学4年生から中学3年生まで、各学校から選ばれた544人の選手たちは、大会に備え練習してきた成果を十分に発揮しました。

新記録は、小学5年女子ソフト投の栗城直子さん(野口小)、中学3年女子100MHの須藤由季子さん(中中)、800Mの菅井久美子さん(日中)の3人でした。

